

青梅市への施設指定管理者評価シート				令和5 年度実施分	
施設名	青梅市第一学童保育所以下7か所				
指定管理者名	株式会社こもの森				
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		担当課	子育て応援課	
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられない子どもの健全な育成を図るため。				

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理 状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どりの管理となっているか など	事業報告、四半 期報、月次報 告、現地視察、 ヒアリング	A	協定にもとづき施設の設置目的に沿った運営に努めた。人員配置については昨年から引き続き新規採用を進めつつ、既存の職員の育成も強化をクラブの運営に努めた。また、障がいのある児童の対応について、当法人の系列施設(児童発達支援施設)の職員に相談する機会もあり、より密に密な連携を実践することが出来た。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書、月次報告書	A	事業報告書、月次報告書は期日までに提出できていた。	B	報告・連絡事項については適切であったが、提出物については期日を過ぎることがあった。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どりの管理となっているか など	事業報告書、現地調査	A	開室前に安全管理チェックを実施し、施設の不具合や危険箇所の有無の確認を行い記録した。改善の必要がある場合には所管課への報告を行い、事務局と連携して即対応をすることで安全性の確保に努めた。	A	利用者等である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告、現地視察、ヒアリング	A	個人情報保護は職員のみの場所に保管し、不要な個人情報保護は複数人で処理するなど適正な執行に努めた。また、年2回職員への研修を行い、適切な意識で取り扱ってきた。 所管課への報告については随時行い、即対応を期して行っていた。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告、月次報告、日誌	A	各施設において業務日報の作成を毎日実施。記録は事務局にて適切に保管している。	A	開所日は毎日常務日報を作成し、整理・保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	事業報告、ヒアリング	A	消防計画に則り自衛消防組織を編成している。また連絡体制を提示し全職員が対応できるように周知。訓練を通して徹底を図っている。 らくらく連絡網という電子ツールで保護者へ連絡できる体制も取っており、台風や大雪などの災害発生時には、いざという保護者にお知らせできる状態になっている。	A	緊急時の連絡体制や危機管理体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	事業報告、ヒアリング	A	全施設、毎月避難訓練を実施し記録に残している。また火災・地震の他に水害訓練、不審者対策訓練についても実施している。子育て協の引当員も訓練にも積極的に参加し、緊急時の対応について学校との連携も高めている。	A	適時訓練を実施し、緊急時の対応確認を行なっている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか。 ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告、現地調査	A	適切に管理している。	A	適切に管理している。
事業 の実 施 等	事業の取組	事業計画どりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告、月次報告	A	事業計画に沿った運営を実施。さらに、保護者参加型のイベントとして『夏祭り』を実施したことで、児童だけでなく保護者からも満足の声が多かった。また、保護者からの声として特に多かった内容として、子どもが学童で主体的に行動している姿や子ども同士の関わり等を知り、社会性や集団行動を学んでいると実感したという意見があった。	A	事業計画に沿って適切に保育がされている。またコロナも5類となり、イベントも再開している。
	利用の状況	事業計画どりの利用状況となっているか。 ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告、月次報告	A	児童の安全に配慮し、適切に保育を実施した。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されており、計画どりの利用状況となっている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか。	アンケート、ご意見箱、子どもご意見箱	A	8月にアンケートを実施し、児童及び保護者の意見を収集した。日頃からこまめな意見を収集した『リクエストおやや』の実施や保護者からご意見を頂戴できるように、玄関へご意見はがきを設置している。また、ヒアリングセッションの中で意識的にニーズの収集も行っている。	S	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が適時行われている。
		利用者の満足度を得られているか。 ・職員との接点、利用条件等は適切か	アンケート、研修、現地視察	A	総合満足度について満足と回答頂いた割合が96%と昨年度より2%上回り、100%の施設も複数あった。またご意見箱で頂いたご意見を反映し、連絡帳、手紙などで感謝の手紙を送るなど満足度についても得られている。	A	利用者から良い評価を得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか。	アンケート、ヒアリング等	A	コロナが5類になったことでより多くのイベントを実施することができた。児童や保護者よりご要望を頂いていた『夏祭り』の良いややの提供に感謝して、後者そばや焼きそばといった『手作りおやや』の実施や安曇野の高原リゾート等の果物を無償で提供したことで、児童や保護者より高い評価を頂いた。また、各施設の保護者や児童とのコミュニケーションやアンケート等で頂いたご意見や課題を、全施設で共有し、運営に反映できた。	S	利用者からいただいた意見に対して適時改善を図っており、その対応が満足度につながっている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告、月次報告、ヒアリング	A	所管課との密な連携はもちろん、子ども家庭支援センターとのケース会議に参加し、積極的に情報を共有することで、児童を取り巻く環境について関係機関に共通認識を持たうことで児童の対応に当たることができた。また、担任や副校長など児童の味方と共有し、学校との連携を進めていくことができた。	A	担当課と密に連携し、適切に運営していた。また学校等の関係機関と情報共有を行い、連携を図っている。
	その他施策内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案どりに実施できたか。	事業報告、月次報告、ヒアリング	A	イベントの充実と保護者への情報発信を計画的に図った。加えて、地域の方から季節挨拶の寄付や地域のお祭りに参加させてもらうといった地域交流を図ることで、事業のクオリティの向上に繋がった。	A	提案どりに実施している。
	会計	総務 管理 管理 現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告 事業報告	A A	適切に管理している 適切に管理している	A A	適正に管理されている。 適正に管理されている。
収 入 状 況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が明確である。	事業報告	A	赤字となっており、適切に運営を行っている。	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100)(当期経常増減額÷経常利益×100)がプラスになっており、赤字決算に陥っていないか。	事業報告	S	経常利益率34.1%となっており、法人として安定した運営を行っている。	S	法人として適切に運営されている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっているか。	事業報告	S	自己資本比率78.4%となっており、安定した運営を行っている。	S	法人として適切に運営されている。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっているか、事業継続の安全性に不安がない。	事業報告	S	流動比率1006.8%となっており、事業継続の安全性に不安はない。	S	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評価	数	記入欄
S	3	・利用者の満足度を重視した『保護者参加型のイベント』や『リクエストおやつ』を実施したことで昨年の94%から上昇し96%という大変ありがたい評価をいただき、結果として事業自体のクオリティが向上したと考える。 ・整備されたマニュアルをもとに、日々の危機管理や環境整備を徹底して行うことで安全性を確保した。 ・地震・火災・不審者の侵入などの状況を想定した避難訓練を実施し、また所管課からの土砂災害訓練に伴う情報伝達訓練、学校主催の引き渡し訓練等にも積極的に参加することで職員も児童も災害や防犯への意識がより高まった。 ・会社の財務については、専門家からも最高の評価を頂いている。
A	18	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評価	数	記入欄
S	6	・協定や事業計画に沿って、事業の実施・管理運営を行った。長年培ってきた経験を生かし、安定した事業運営を行った。 ・児童や保護者と円滑なコミュニケーションをとっており、そのことが利用者の高い満足度につながっている。 ・新型コロナウイルスも5類となり手作りおやつを再開したり、児童主体のイベントを実施するなど児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。 ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行い、また担当課とも連絡を密にとりながら学童保育所の運営を実施した。
A	14	
B	1	
C	0	